

東北大学大学院農学研究科

附属複合生態フィールド教育研究センター 第10回国際シンポジウム

The 10th International Symposium on Integrated Field Science

東北地方における沿岸生態系と漁業の復興をめざして：

スマトラ島沖地震の事例から学ぶ

Restoration of Coastal Ecosystems and Fisheries in Tohoku District: Lessons from Northern Sumatra Earthquake and Tsunami Disasters

日時：平成25年3月23日（土）—24日（日）

場所：東北大学大学院農学研究科 第1番講義室

（24日は東松島、石巻、女川方面へのエクスカージョンです）

主催：東北大学大学院農学研究科 附属複合生態フィールド教育研究センター

共催：東北マリンサイエンス拠点形成事業（東北大学）

参加費：無料（懇親会は有料です）

事前登録：不要（懇親会とエクスカージョンに参加希望の方はご連絡ください）

東日本大震災から2年が経過し、地震と津波によって沿岸生態系がどのような影響を受けたのか、あるいはどのように修復されつつあるのかについての科学的知見が集積されつつあります。このような知見を単なるケーススタディとして捉えるだけではなく、他の事例との共通性と異質性を認識して一般化を図ることも重要です。また、得られた知見を今後どのように東北地方の沿岸漁業やコミュニティの復興に活かしていくのかについて考えるためには、過去の事例から学ぶことが必要です。今回の国際シンポジウムでは、2004年のスマトラ沖地震と大津波により大きな被害を受けたインドネシア、マレーシア、タイ、スリランカから沿岸生態学および津波工学の専門家を招き、各国における沿岸の被災状況と復興への道のりについて報告していただくことになりました。東北マリンサイエンス拠点形成事業の調査によって得られた知見もあわせ、東北地方の沿岸生態系と漁業のより良い復興について議論します。

*東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センターは、個別の生態系における研究をさらに深化し、さらに、より複合的視野から隣接する生態系も含めた総合的な研究の展開を目指しています。こうした研究を深化・発展させるために、当センターでは毎年異なるテーマで国際シンポジウムを開催しています。

プログラム（講演はすべて英語で行われます）：

3月23日（土）

- 12:00～ 受付開始
- 13:00-13:10 木島 明博（東北大学） Akihiro Kijima (Tohoku University)
趣旨説明 Opening remarks
- 13:10-13:40 原 素之（東北大学） Motoyuki Hara (Tohoku University)
東北マリンサイエンス拠点形成事業の紹介
Introduction of Tohoku Ecosystem-Associated Marine Science Project
- 13:40-14:10 青木優和（東北大学） Masakazu Aoki (Tohoku University)
東北太平洋沖地震後の岩礁域潮下帯の変化
Dynamics of the Rocky Subtidal Ecosystem after the Tohoku Pacific Earthquake
- 14:10-14:40 スバンドノ=ディサプトノ（インドネシア海洋水産省）
Subandono Diposaptono (Ministry of Marine Affairs and Fisheries, Indonesia)
漁業セクターにおける津波被害の軽減：インドネシアの事例
Tsunami Disaster Mitigation in Fisheries Sector, Indonesian Experience
- 14:40-15:10 アニル=プレマラトン（スリランカ国防・都市開発省）
Anil Premaratne (Ministry of Defense and Urban Development, Sri Lanka)
スリランカにおける沿岸資源および沿岸生態系の津波被害からの復旧
Rehabilitation of the Coastal resources and Coastal Ecosystems after 2004 Tsunami disaster in Sri Lanka
- 15:10-15:20 休憩 Coffee break
- 15:20-15:50 ズルフィガー=ヤシン（マレーシア科学大学）
Zulfigar Yasin (University of Science, Malaysia)
2004年のインド洋大津波がマラッカ海峡沿岸の漁業と生態系に与えた短期的・中期的インパクト
The Short and Intermediate Term Impacts of the Indian Ocean Tsunami 2004 on the Malaysian Fisheries and Some Associated Marine Habitats in the Straits of Malacca

- 15:50-16:20 セリー=スプラチッド (タイ・ランシット大学)
Seree Supratid (Rangsit University, Thailand)
2004年のインド洋大津波から学んだこと：タイにおける水産
業の被害と復興
Lesson Learnt from 2004 Indian Ocean Tsunami for Thailand: Damages and
Recovery of Fishery and Aquaculture Industries
- 16:20-16:30 休憩 Coffee break
- 16:30-17:10 総合ディスカッション
Panel discussion/Open discussion
- 18:00-20:00 懇親会 (「北の家族」) Banquet (Kita-no-Kazoku)
(参加費 5000 円程度)

3月24日(日)

東松島、石巻、女川方面へのエクスカージョンおよびファイナル・ディスカッション

<懇親会とエクスカージョンの参加申し込み・問い合わせ先>

複合生態フィールド教育研究センター (女川)

沿岸生物生産システム学分野 准教授 池田 実 (いけだみのる)

電話: 022-717-8804

電子メール: ikusyu@bios.tohoku.ac.jp